福井らしい景観を形成するための基本方針（総括図）

◎福井らしい景観とは　『美しい自然に歴史・文化が溶け込んでいる、日本の原風景が感じられる景観』

◎景観形成の基本理念

福井らしい景観を守る　／　世界に誇れる美しい福井を創る　／　市民とともに創り・育てる

◎景観形成の目標

四季彩織りなす風景都市

～住みたくなる心地よい景観をめざして～

◎景観特性に応じた７つのゾーン、各ゾーンをつなぐ２つの景観軸

【南北風格景観軸】
歴史と賑わいが物語る風格あるシンボル景観軸の形成

【東西水辺景観軸】
潤いと花のある水辺景観軸の形成

【田園景観形成ゾーン（市街地北西部エリア）】
水と緑と花が輝く田園景観の形成

【海岸景観形成ゾーン】
海と夕日と水仙が映える海岸景観の形成

【市街地景観形成ゾーン】
自然と歴史が共生する都市景観の形成

【田園景観形成ゾーン（市街地東部エリア）】
文化が薫るコシヒカリの里景観の形成

【山並み景観形成ゾーン（美山エリア）】
ぬくもりあふれる杉の里景観の形成

【山並み景観形成ゾーン（国見岳エリア）】
日本海と大地を見下ろすパノラマ景観の形成

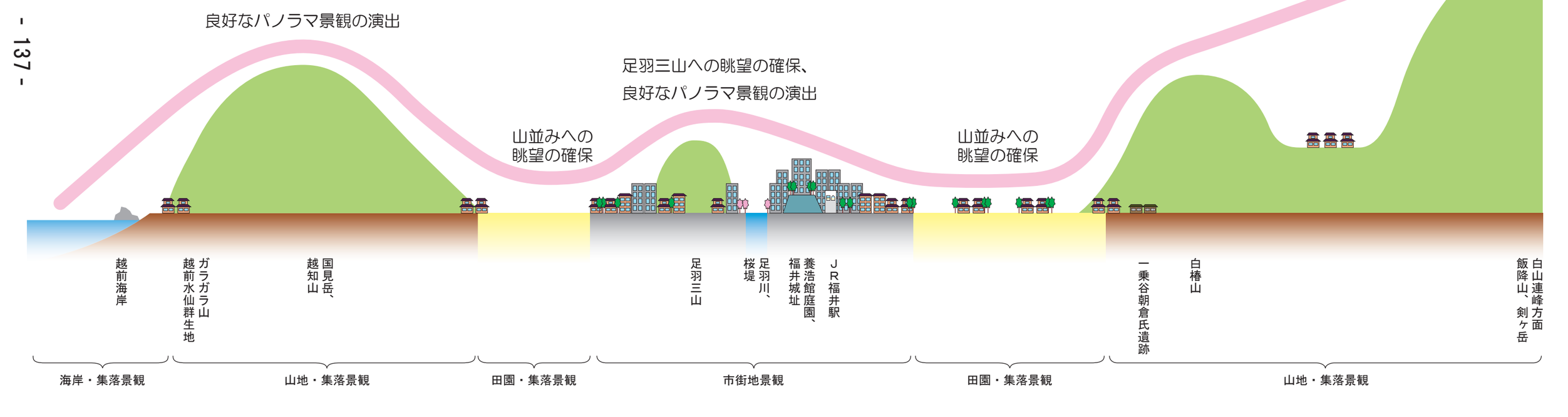
【田園景観形成ゾーン（市街地西部エリア）】
潤いのあるふるさと田園景観の形成

《景観形成重点地区（越前水仙群生地区）》
人と自然に育まれた文化的景観の保全

《景観形成重点地区（福井都心地区）》
福井らしさを実感できる風格あるシンボル景観の創生

《景観形成重点地区（一乗谷地区）》
悠久の自然と歴史、生活文化の未来への継承

◎福井らしい景観を象徴する３つの景観形成重点地区



◎福井らしい景観を形成するための５つの基本方針

基本方針１　福井を象徴するシンボル景観の形成

①まちの「目印」である足羽三山を際立たせる
②福井らしさを実感できる都心地区のシンボル性を高める
③悠久の自然と歴史、生活文化を感じる一乗谷を継承する
④人と自然に培われた越前水仙の里を保全する

基本方針２　福井の「地」となる自然景観との共生

①まちの背景となる山並みの景観を保全する
②ふるさと福井の原風景となる田園景観を保全する
③白砂青松と奇岩奇勝が続く海岸景観を保全する
④まちに潤いを与える水辺景観を保全する

基本方針３　地域固有の歴史・文化的景観との共生

①地域固有の歴史景観を継承する
②人々の生活や営みに支えられた文化的景観を保全する
③地域固有の様相を残す伝統的家並みを保全する

基本方針４　魅力あふれる都市景観の形成

①快適で潤いのある道路景観を形成する
②福井らしい鉄道景観を演出する
③福井らしい建築物等を誘導する
④福井らしい屋外広告物を誘導する
⑤福井らしさをイメージするサイン等を設置する
⑥水と緑の回廊を創出する
⑦魅力ある夜間景観を創出する

基本方針５　福井らしい景観を育む人づくり

①福井プライドをもった市民の育成
②市民参画体制の確立
③優れたデザインを生み出す仕組みづくり